

- 大学入学共通テスト出願について
- 中間考査 終了
- 受験にかかわるスケジュール
- 科目選択の考え方 他

「知らない作品の音を手に入れる」

芸術（音楽）科 千原 卓也

聴きたい曲が思い浮かんだら、あなたならどうする？

即 YouTube でしょうか。YouTube を開けば、とりあえず聴きたい曲に出会える。もっと良い音質で聴きたければ、ダウンロードして音楽を購入することもできる。たくさんの曲を聴きたいのなら Spotify などのサブスクに加入する方法だってある。

中学生・高校生だった当時の私が聴きたい（タイトルはわかっているが、音としては聴いたことがない）曲を聴くためには、概ね以下の方法が存在した。

- ① 公共図書館の音楽ライブラリーから聴きたい曲が入ったレコード等を借用し、再生する。
- ② 聴きたい曲が入ったレコードを購入し、再生する。
- ③ 所有する楽譜の中に聴きたい曲の有無を調べ、楽譜が存在すればそれがピアノ用の楽譜であろうがなかろうが構わずピアノで弾いて再現する。
- ④ 父親所有のレコードを捜し、聴きたい曲が発見できた場合は再生する。
- ⑤ 普段から少しずつ充実させてきた自前のアーカイブから聴きたい曲を捜し、再生する。

当時、それぞれについて試みた。

- ① そもそも当時の公共図書館には、充実した音楽メディアの所蔵がなかった。僅かに置いてはあるものの、意中の曲に出会えることはなかった。
- ② 初演されてない曲や、演奏はされているものの未収録の曲、未発売の曲も数多く存在した。さらに、小さな楽器店には店頭においておらず、取り寄せの商品も多かった。公共図書館よりはいくぶんマシだが、こちらも意中の曲に出会えるとは限らない。また、数多くの曲を手に入れようとすると、中高生にはおこずかいの点からハードルが高かった。（ちなみに当時、レコードは楽器店で販売されていた。）
- ③ 我が家にはピアノの楽譜の他、管弦楽、室内楽のポケットスコアがいくらかあった。これらのスコアをたいへんゆっくりしたテンポで弾いてみる。同時に 20 段くらいの五線を読まなければならないが、間違えながらも音にしてみると曲の全体像が現れてくる。何十回と練習し、それぞれをつなげていくと曲になるではないか。（難しいことには違いないが、楽しい！！）（この訓練はたいへん勉強になった。）
- ④ 我が家にはレコードも数多くあった。それでも意中の曲には滅多に出会えなかった。（意中の作品は見つからなかったものの、「レコードを手にした」という縁から偶然手にしたレコードを聴いてみた。知らなかった素敵な曲に出会うことができた。）
- ⑤ NHK-FM のクラシック音楽番組のエアチェック（視聴すること、録音すること）をほぼ毎日行った。当時はクラシックの音楽番組（現代音楽を含む）が数多くあった。放送時間もたっぷりあった。海外放送局が収録した演奏音源の提供が充実していたため、日本初上陸の作品も数多くあった。これを録音して音源を個人所有することで、自前の音楽アーカイブが数年のうちに積み上がっていった。これらを繰り返してよく聴いた。

当時の記録メディアであるカセットテープでは片面1時間が限度だったため、秋葉原の電気店でオートリバース機能付きの10号リール用オープンリールテープデッキを購入した。長時間（連続6時間/ワーグナーのオペラも大丈夫！！）の演奏も録音して聴いた。（知らない作品をさらに数多く知ることができた。）（日々放送される新たな音楽作品に触れることは視野を広げたと思う。）

今では簡単に手に入る音楽作品の音源も当時としては苦勞して手に入れるしかなかった。そんな環境だったからこそ手に入れた音源の貴重さに喜びながら聴いた。聴いた。聴いた。

そして、演奏された音の機微や表現方法、どんな音構造や技法でできているのか、また楽譜としてはどう書かれているのかを興味深く研究することができた。

学習にも訓練にも「負荷」はつきものだ。また「負荷」がなければ成長もないだろう。勉強方法やトレーニング方法も自身で見つけられると、毎日が充実した楽しい「負荷」に思えてくるはず。目を輝かせて自分のやりたいことに徹してみよう。

○大学入学共通テスト出願について

3年生の大学入学共通テスト志願票を発送し、まもなく大学入試センターから「確認はがき」の第一陣が届く頃です。

担任の先生から「確認はがき」をもらったら、氏名や住所、登録教科、受験科目数などを、志願票のコピーと照らし合わせて確認してください。訂正等が必要な場合は11月4日までに学校で一括して大学入試センターに「訂正届」を出さなければなりません。日程に余裕が無いので、すみやかに確認しましょう。また、受験教科や受験科目数の変更も今回に限り受け付けてもらえます。万が一訂正や修正が必要な場合は、10月27日（水）までに担任の先生をとおして申し出てください。問題がなければそのまま「確認はがき」を保管しておいてください。紛失することのないよう、くれぐれも注意してください。

○大学の願書について

数年前までは、主な私立大学の入学願書を学校で取り寄せて校内で配布していましたが、この数年でほとんどの私大がWeb出願方式に切り替えているため、紙の願書の配布は行いません（と言うより、できません）。各大学のHPに出願の方法が詳しく載っていますので、受験を考えているところのものは早めにチェックしてください。

一方、国公立大学では、Web出願と従来通りの紙の願書が混在しています。HPで確認のうえ、願書は各自で入手してください。願書の取り寄せについてはすでに配布している「テレメール願書請求カタログ」などを利用するとよいでしょう。大学入学共通テ

スの結果次第で受験する可能性の出る大学の願書は必ず事前に入手しておきましょう。また、国公立大学では後期日程も出願期間は前期日程と同時期です。

願書配布時期は各大学で異なるので必ずHPで確認しておきましょう。

○中間考査 終了！

先週、中間考査が行われました。9月にはオンライン授業もありました。逆境に負けず主体的に勉強できたでしょうか。ちょうど本日考査が終了しましたが、満足のものとなったでしょうか。

3年生は受験勉強や進路活動が本格化する中での考査となりました。今回と12月の考査が最終成績を左右する重要な考査です。また、授業と受験とは別物ではありません。考査の振り返りに時間をかけ、考査でミスした箇所は受験で絶対にミスしないという意識が重要です。

○受験にかかわるスケジュール 進捗管理について

3年生の中には、いよいよ受験に向けた出願準備をしている人もいます。校内でも、担任の先生との面談や、書類の添削指導などを受ける3年生の姿が見られるようになってきました。

ここで重々注意してほしいことが、「スケジュール管理」です。出願締め切りや受験日はもちろん、書類の郵送は「消印有効」なのか「必着」なのか等…。細かい箇所まで自分で把握し準備することはもちろんですが、そのスケジュールの中には、保護者の方や担任の先生、経営企画室の方など、さまざまな方の作業が必要と

なります。つまり、自分ひとりのスケジュールで準備を進めることはできないということです。まずは、保護者の方や担任の先生と細かい打ち合わせをしっかりとしてください。また、その後の進捗についても逐一報告するように心がけましょう。

どんなに受験勉強を頑張っても、受験に至るまでがバタバタと慌ただしくては意味がありませんし、出願でミスして受験できないという最悪の場合もあり得ます。十分注意してください。

○科目選択の考え方

2年生は、次年度の科目選択を決定する時期になっています。

科目を選ぶ際の一つの基準が大学入試科目です。自分の志望する大学の入試科目を調べ、それに対応できる科目選択をしましょう。河合塾の「栄冠めざして vol.2」を全員に配布しました。そこにすべての大学の受験科目が載っていますので参考にしてください。ただし、これは現3年生の入試の科目です。一年後、あるいは二年後に科目が変更になる可能性があります。ということも覚えておきましょう。

そこで二つ目の話になるのですが、入試科目だけを意識したぎりぎりの選択をするのではなく、余裕をもった選択をしてほしいと思っています。そもそも皆さんは受験生である前に高校生であり、将来、社会人として生きていくうえで必要な知識を幅広く学ぶ必要があります。18歳からの選挙権も認められるようになっていきます。社会のさまざまなことに関心を持ち、貪欲に学ぶ姿勢を持ちましょう。それは、巡りめぐって大学受験にかえってきます。これからの大学入試では既成の教科の垣根を越えた合教科的な問題が増えていきます。分野の異なる複数の資料を関連づけて読み解く能力は、幅広い知識と柔軟な思考力があ

て初めて可能になります。さまざまな教科・科目を学ぶ意義はそうしたところにありそうです。

国公立大学入試対策会報告

10月13日に3年生を対象とした「国公立大学入試対策会」がありました。河合塾講師の方の講演を聴くことができました。近年の各大学の動向や、今年度の受験の傾向、受験に向けての実践的なアドバイスも多く、大変参考になりました。

○11月9・10日は模試の日

11月9・10日は模擬試験の日です。1年生と2年生はベネッセの進研模試、3年生は駿台ベネッセマーク模試を受験します。どの学年の模試も自身の学力を正確に把握する上で重要な模試です。前回の模試の結果を踏まえて対策を講じましょう。

特に1年生は、初見の問題を解く経験が少ないですが、不安になることはありません。模試では、毎日の授業で蓄えている知識を応用し、はたらかせていく力が問われます。授業の振り返りをしっかりと行い、前回模試の反省を今一度見返してみてください。

◆今後の予定

- 大学入学共通テスト確認はがき到着
※科目等修正の最後の機会
- 河合塾模試（校内実施） 10/23(土)
- 実力テスト（3年） 11/9(火)
午前：通常授業 午後：実力テスト
- 実力テスト（1～3年） 11/10(水)
- 実力テスト（3年） 11/23(火)

先輩からの言葉

三宅村議会議員 37回生 沖山雄一

選択はあなた次第

いまは情報もネットを通じてたくさん集められる、自分自身が何を大事に生きて行くか？ その根本はずっと変わらないと思う。小さいころ好きだったものは大人になってもずっと好きだし、小さいころに感動したことは、大きくなってからもまた違った意味で感動できる。レイチェルカーソンのセンス・オブ・

次のページにつづく

ワンダーをご存知ですか？ 私は高校二年生の時に海洋生物学者のジャックモイヤー氏と三宅島の海に潜りました。その時の研究は「クマノミは雌雄同体である」という事を発見し世界に発表しました。インターネットもない時代に三宅島から世界に情報発信していることに驚いた。世界中から三宅島に人が来ていた。いまなら簡単に個人がインターネットを通じて世界に発信できる。でも本当に評価されるのは、溢れるほどの情熱だったり、誰とも違うその人らしさだと思うのです。

人は自分が期待するほど、自分を見てはくれていないが、
がっかりするほど見てはくはない
人とのご縁を大切に

大学生の時に六本木のディスコに通いまくった。当時、新宿高校OBの坂本龍一さんと同時期に世の中を賑わせていた、アーティストの日比野克彦さんの段ボールアートがそこにあった。2011年のある日、三宅島大学という地方創生プロジェクトで来島した日比野さんとお会いして話をしたが、その時はあまり深い会話にならなかった。その次にお会いしたのは2014年でその3年間に東日本大震災や三宅島は改選で村長も変わり、三宅島大学プロジェクトが終わろうとしていた。2012年にカフェに業態変更していたお店にびっくりして、3年間の間に、お互い大変だった話に花が咲き、その夜、日比野さんと藝大の学食で調理をしていたオーナーの三宅島の居酒屋「花鳥羽（はとば）」で飲んだ。（閉店して今はない）ちょうど、前回の東京五輪の時に藝大にいた居酒屋のオーナーは「ちょうどジャガイモの皮を外で剥いているときにブルーインパルスが真上を飛ぶのを見て感動した」というと、日比野さんは当時の五輪の体操選手「チェブラフスカが好きでさあ〜」っていうとスマホで画像検索して、みんなで盛り上がりながらお酒を飲んだ。その流れで前から聞きたかった「なんで日比野さんは段ボールだったんですか？」と聞くと「藝大なんて、写真のように絵を描けるやつがたくさんいる。お金もなかったから、描かないといけないのに、オリジナリティを意識すると、高い絵の具やキャンバスに躊躇して、最初の一手がなかなか描けなかったんだよ。そんな時に画材屋さんの裏にある段ボールだったら気軽に描けるから、そこに下描きしていたら、友人や教授が、「それは日比野らしいな」って言うてくれて、それから段ボールで日比野克彦を表現するようになったんだよね。」と話してくれた。

その次の日に少し二日酔いでカフェに寄ってくれた日比野さん。前日の飲み会が相当楽しくて、気分が良かったのか、「沖山さん、段ボールある？」って言うてくれて、アマゾンの段ボールで三本岳と鯨を描いてくれて段ボールのオブジェをプレゼントしてもらいました。後に日比野さんの関係者から、「相当気分が良かったんでしょうね。日比野はもう段ボールアートをほとんど作っていないのでオブジェは美術館クラスに貴重だからアクリルケースなどに入れて保管してください」と連絡がありました。

日比野克彦さんは職業「日比野克彦」と言っていました。それがものすごくカッコ良かった。昔は世界に出て有名になりたいとばかり思っていたけど、最近歳をとってから地元の岐阜に恩返ししたいと思って、いまは岐阜でも活動していると。私も日比野さんのように職業「沖山雄一」を生涯全うしたいし、新宿高校のみなさんも「自分らしさ」を生涯全うしてください。そんなみなさんを心から応援します。本州から180キロ離れた島から最大限のエールを贈ります。

